

ガ、直接ニ政府ニ對シテ意見ヲ述ベル
ト云フコトハ妥當デハナイ、サウ云フ
意味ニ於キマシテ、日本林業會ニ林業
委員會ヲ置クト云フコトヲ茲ニ書イタ
デアリマスガ、併シ都道府縣林業會ニ
於キマシテモ、色々生産配給等ニ關シ
マシテ關係各方面ノ意見ヲ聽クト云フ
機構ヲ持ツト云フコトハ、是ハ適切デ
アラウト思フノデアリマス、サウ云フ
意味ニ於キマシテ、政府ニ意見ヲ述ベ
ルト云フ機關デアリマセヌカラ本法ニ
ハ載セマセヌケレドモ、定款等ニ於キ
マシテ、林業委員會ヲ設ケルト云フコ
トハ適當デアラウ、斯ウ云フ風ニ考
マシテ定款ノ中ニ入レタ譯デアリマ
ス、ソレカラ委員會ノ構成ノ員數等ニ
付キマシテハ、是ハ日本林業會ノ自主
的ニ御決メニナルコトデアリマシテ、
政府ト致シマシテハ別ニ之ニ對シテ特
別ニ、何人位ガ宜カラウト云フコトヲ
指示致スノデハゴザイマセヌデアリ
マス、凡ソ三十人ナリ其ノ邊ノ數ニナ
ルノデハナカラウト云フ風ニ考ヘマ
スケレドモ、之ニ付キマシテハ林業會
ノ自由ニ決メル所デアリマス

ソレカラG・H・Qノ指令ノ中ニアル
諮問機關ト云フガ、此ノ林業委員會
ニ當ルカト云フコトデアリマスガ、ア
ノ諮問機關ト云フ言葉ハ、「アドグア
イズリーボデール」ト云フヤウナ言葉
ニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ日
本林業會其ノモノガ其ノ機關デアルト
云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、隨
ヒマシテ此ノ三十一條ニ日本林業會ガ
政府ニ對シテ意見ヲ述ベル、此ノ日本
林業會ト云フモノガ、民主的ニ地方ノ
各團體カラ盛上ツテ参リマス機構デア
リマスカラ、サウ云フ機構ヲシテ政府
ニ意見ヲ述ベシムルヤウニト云フヤウ

ナ指令ノ趣旨ナンデアリマス、唯其ノ
場合ニ、日本林業會ノ政府ニ對スル意
見具申ノ際ノ參考意見トシテ、各方面
ノ意見ヲ廣ク採リ入レルト云フ機會ヲ
與ヘル爲ニ、林業委員會ト云フモノヲ
作ルト云フコトニ致シタノデアリマ
ス、林業委員會其ノモノハ所謂諮問機
關デハナイノデアリマス

○井出委員 其ノ次ニ林業會ノ役員ノ
問題デゴザイマスガ、是ハ日本經濟民
主化ノ要請ニ基イテ本法ガ出來タモノ
デアルト致シマスルナラバ、此ノ役員
ノ選任ハヤハリ最も民主的ニ行ハナケ
レバナラヌト思フノデアリマス、其ノ
爲ニハ下カラ積上ツテ行クト云フ風ナ
方式ニ依ツテ、謂ハバ都道府縣ノ林業
會ノ役員ハ、ソレヲ構成スル單位組合
ノ中カラ之ヲ求メル、又日本林業會ハ
ヤハリ同様ニ其ノ構成「メムバー」ノ中
カラ選バレルト云フ風ナ仕組ガ、最も
望マシト思フノデアリマス、所ガ此
ノ程來平野議員デゴザイマシタカノ御
發言中ニ、ヤハリ何カ話題ノ人ガアル
ト云フ風ナコトニモ伺ツテ居リマス
シ、又一面斯ウ云ツタ機關ガ農林官僚
ノ範疇山ト云フ風ナ形ニ於テ、例ハバ
諸類ノ統制會社ガ非難サレテ居リマス
ヤウニ、或ハ日本肥料統制會社ガサウ
デアルト同ジヤウニ、此ノ日本林業會
モ亦左様ナ天降リ人事ニ依ルモノデハ
ナイカト云フ疑ヲ持タレテ居ルヤウニ
モ聞及ビマス、殊ニ第十四條デゴザイ
マスカ、特別ノ事情アルトキハ役員ハ
前項ニ該當シナイ者ノ中カラ云々ト云
フヤウナ別個ノ規定ガアリマシテ、ド
ウモ何カ是ガ異イト云フヤウナ感シヲ
懷カセルノデアリマス、ドウカ當局ト
シテハ此ノ際最も民主的ニ此ノ人事ヲ
行フノダト云フ言明ヲ戴キタイ、斯様

ニ思フノデアリマス
○平川政府委員 是ハ申上ゲルマデモ
ナク民主的ニ、會員タル法人ノ業務ヲ
執行スル役員又ハ會員ノ中カラ選バ
デアリマシテ、之ニ對シマシテ官廳ノ
方デ指圖ヲスルト云フヤウナコトハ致
サナイ積リデアリマス、唯此ノ十四條
ノ末項ニアリマスノハ、會ノ役員ノ中
ニハ、例ヘバ事務ヲ擔當シテ居リマシ
タ者ノ中カラ選バナケレバナラヌ、事
務ノ運行上、サウ云フモノノ中カラ役
員ノ一部ヲ選バナケレバナラナイト云
フヤウナ場合モアラウカト思フノデア
リマス、サウ云フ意味ニ於テ、會員タ
ルモノ以外カラモ選ビ得ル、其ノ事務
員ノ中カラ理事者ノ一名ナリ、二名ナ
リヲ出スコトモ出來ル、斯ウ云フ意味
ニ於テ、是ハ大體團體法ニアリマスル
所ヲ踏襲致シタノデアリマス、決シテ
是ハサウ云フ天降リ式ノコトヲヤラウ
ト云フ意味デハナイノデアリマス

○井出委員 了承致シマシタ、其ノ次
ニ地木、日本ノ清算ニ當リマシテ、現
在ノ考課狀ガ參考書類トシテ配付戴イ
テ拜見致シマシタ、此ノ中デ問題ニナ
リマスノハ、立木、素材或ハ製材、斯
ウ云フ風ナ勘定ガ相當問題デアラウト
思ヒマス、此ノ評價ハ可ナリノ含ミガ
アルモノデラウト私ハ推定ヲ致シマ
ス、此ノ中立木ハ元ノ持主ニ返サレル
ト云フヤウナ御方針ノヤウニ聞及ビマ
シタノデ、是ハ宜イト致シマシテモ、
手持素材或ハ商品トシテノ製材ト云フ
モノハ、其ノ後公定價格ノ變更ナドモ
ゴザイマシテ、莫大ナ生産評價益ト云
フヤウナモノガ出ル筈デラウト思フノ
デアリマス、斯様ナモノハ統制會社デ
アリマス關係上、或ハ政府ノ特別ナ
歲入トシテ徵收ヲスルト云フノモーツ

ノ方法デアリマセウ、モツト願ハシイ
コトハ、斯ウ云ツタモノガ山林資源ノ
培養ト云フ意味ニ於テ、元ノ山ヘ何ト
カ還元スル方圖ガアリハシナイカ、此
ノ點政府ノ御見解ヲ伺ヒタイ
○平川政府委員 地木ノ所有スル素材
ニ付キマシテハ、價格ノ引上ト云フノ
ハ昨年十一月ニヤリマシタ、其ノ際
ニハ御承知ノ如ク地木ノ手持材ヲ、住
宅營團及ビ日本ニ前ノ公定價格デ引渡
サシメタノデアリマス、隨ヒマシテ地
木ハ其ノ爲ニ價格ノ値上リニ依ル利益
ト云フモノハ得テ居リナイ譯デアリマ
ス、現在持ツテ居リマスモノハ、ソレ
以後ノ伐採ニ係ルモノデアリマシテ、
隨ヒマシテ、御話ノ如キ評價益ト申シ
マスカ、價格値上リニ依ル利益ト云フ
モノハナイモノト考ヘテ居リマス

○井出委員 ソレデハ次ノ問題ト致シ
マシテ、第四條ノ第一項ノ三號デゴザ
イマスガ、林産物ノ検査ヲ今後ハ林業
會ガ主トシテ擔當致ス、斯様ナコトニ
云フヤウナモノガ、所謂官ノ立場ニ於
テ行ツテ居リマシタ検査ハ、一應林業
會ノ民主的ナ検査ニ移行スル、斯様ニ
考ヘテ宜シイデアリマセウカ、サウシ
テ又其ノ場合ニ、所謂官吏ノ身分デア
リマスル所ノ林業検査員ト云フモノハ
一體ドウナルノカ、是ガ林業會ニ民間
人トシテ引繼ガレルコトニナルノカ、
或ハ行政整理ト云フヤウナ形ニデモナ
ルモノデアラウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致
シマス
○平川政府委員 此ノ検査ニ付キマシ
テハ、現在ノ縣營ノ検査ヲ直チニコチ
ラニ移スト云フコトハ、實際問題トシ
テ困難デアラウ、自治團體デアリマス
カラ、將來實力ガ充實ヲ致シマスレ
バ、之ヲ行ハシメルコトガ出來マ
スルヤウニ法文ノ上ニハ書イテ居ルノ
デアリマス、現在直チニ縣營ノ検査ヲ
全部ソチラニ振向ケルト云フコトハ、
一寸困難デラウト思ヒマス、漸次林業
會ノ實力ガ付イテ参リマスレバ、ソチ
ラノ方ニ検査ヲ行ハセテ宜イト思ツテ
居リマス、差當リ御話ノ如ク直チニ行
政整理ヲヤツテ、検査員ノ身分ヲソチ
ラニ移スト云フコトマデハ考ヘテ居リ
マセヌ
○井出委員 ソレカラ普通議員ト特別
議員トノ間ニハ、資格權限ト云フヤウ
ナモノ、乃至ハ表決權ト云フモノニ差
異ガアルモノデアリマスカドウカ、ソ
レカラ役員タリ得ル權能ナドモ如何デ
アリマセウカ、此ノ點伺ヒタウゴザイ
マス
○平川政府委員 議員ト特別議員トノ間
ニ於キマシテハ、決權ノ差異ハゴザイ
マセヌ、唯其ノ選任ノ方法ガ稍々違フ
ノデアリマシテ、特別議員ハ議員ノ集
マツタ總會デ選任ヲサセルコトニナル
ノデ、一般ノ議員ハ各々其ノ參加團體
ニ於テ選出ヲシテ参ルト云フ、選任ノ
方法ガ違フ譯デアリマス、一旦選任サ
レマシタ以上ハ、議決權ハ全ク同様デ
アリマス
○井出委員 大體以上ヲ以テ質問ヲ打
切リタイト思ヒマス、最後ニ是非強調
ヲ致シテ置キタイコトハ、昨日モ此ノ
問題ニ付テハ觸レタノデアリマスガ、
本法ヲ見マスト、森林組合ニ對スル指
置ガ少シク片手落ちデアル、是ハ私ノ感
ジバカリデナク、多クノ委員諸君カラ
サウ云フ風ナ指摘ガアツタノデゴザイ
マス、森林組合ガ現在力ガマダ充實シ
テ居ラヌト云フ風ナ政府ノ御見解モア
リマスカ、是ハ今後トモ十分ニ指導育

成ヲ致シマシテ、森林組合ト云フモノノ實力ヲ付ケルコト云フ風ナ方向ニ推進セシメラレタイ、サウシテ森林組合ガ森林法ト云フ別個ノ法規ニ規定サレテ、林業團體法デアル所ノ林業會ノ中へ入ツテ來ナイト云フハ、ドウモ不自然デアルト思フノデアリマス、斯様ナ點ヲ成ベク急遽ニ統一綜合サレルヤウニ、切ニ希望致シマシテ私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○森委員 岡司君

○國司委員 林業會法ノ各條ニ從ヒマシテ少シク御質問致シタイ思ヒマス、先ヅ此ノ法律ノ第一條ニ誦ツテアリマス「林業會ハ、會員ガ協同シテトゴザイマスガ、此ノ法律ヲ通觀シテ參リマス、一體此ノ法律ト云フモノヲ制定致シマシタ御當局ノ思想の基盤ガ何處ニアルカ、即チ資本主義の考へ方ニ據ツテ居ルモノカ、或ハ又協同組合主義の考へ方ニ據ルカ、ソレトモ社會主義の考へ方ヲ採用サレタカドウカ、其ノ點伺ヒ致シタイ思ヒマス

○平川政府委員 何レノ主義カト云フコトヲ、ハツキリト申上ゲルコトハ困難デアリマスガ、基礎ハ現在ノ資本主義ノ基礎ヲ一應肯定致シマス、併シ會員ガ自治的ニ、協同的ニ、林業ニ關スル各種ノ仕事ヲ發展セシメルト云フ意味ニ於テ、協同ノ力ト云フモノヲ助長シテ參リタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○國司委員 次ニハ「自主的に林業の改良を遂げ」云々ト云フコトガアリマス、其ノ自主的ト云フ意味デアリマスケレドモ、勿論是ニハ政治的ナ活動ト經濟的ナ活動ト意味スルモノト思ヒマスガ、經濟的ナ活動ノ面ニ付キマシ

テハ、相當ニ此ノ法文ニ規定ガアリマスケレドモ、政治的ナ活動、詰リ公定價格ノ決定ニ參與スルカ、或ハ價格ヲドウスルカ、或ハ他色々ナ所謂政治的ナ活動モ、林業會トシテハ必要ナ事項デアラウト思ハレマス、成程公定價格ノ面ニ於キマシテハ、林業委員會ニ於テ諮問ヲ受ケレバ、之ニ答申スルコトガ出來ルト云フ規定ガゴザイマスルケレドモ、ソレ以外ニハ林業會トシテ自主的ナ活動ト云フ點ニ於テノ規定ハ見受ケラレマセヌガ、其ノ點ハ如何ナモノデゴザイマセヌカ、即チ林業會ノ政治的ナ活動ト云フコトハ、此ノ法文内ニ於テナスコトヲ許ス、斯ウ云フ御趣旨デゴザイマセヌカ

○平川政府委員 政治的ナ活動ト云フコトニ適切ニ當ルカドウカ分リマセヌガ、此ノ林業會ノ生産ナリ或ハ價格ナリノ問題ニ付キマシテ、林業會ハ積極的ニ政府ニ對シテ意見ヲ述べ得ルノデアリマシテ、ソレガ第三十一條ノ第一項ニ明記シテアル譯デアリマスルカラ、此ノ條文ニ依リマシテ林業ノ改良發達上必要デアルト云フ風ニ考ヘマスルコトハ、積極的ニ政府ニ申述ベルコトガ出來ル、唯其ノ場合ニ於テ林業委員會ノ意見ヲ諮問致シマシテ、其ノ上デ林業會ガ意見ヲ述べルト云フノデアリマスカラ、日本林業會ハ、此ノ條文ニ依ツテ是ガハツキリト出來ルノデアリマス

○國司委員 第一條ニハ自主的ニ林業ノ改良發達、林產物ノ生産確保、配給ノ適正化ト云フヤウナコトヲ誦ツテ居リナガラ、第四條ノ第二項ヲ見マスルト云フト、極メテ重要ナ施策ト云フモノガ、即チ林業會ノ根本トゾモ言フベ

キ是等ノ生産及ビ配給ニ關スル割當デアルトカ、或ハ價格統制ニ關スル政府ノ施策ニ對スル協力デアルトカ、或ハ又必要ナ物資ノ割當ト云フヤウナモノガ、殆ド政府ノ手ニ依ツテ握ラレテ居ルト云フコトハ、是ハ一體ドウ云フ趣旨ナノデゴザイマセヌカ

○平川政府委員 「自主的」トアリマスルケレドモ、併シ此ノ價格ナリ、或ハ生産配給ノ問題ハ國全體ノ經濟ニ關係ナル問題デアリマスルカラ、是ハドウシテモ政府ガ全體ヲ見タ見地ニ於テ大キナ方針ハ決メナケレバナラヌ、併シ其ノ大キナ方針ノ下ニ於テ、具體的ニ林業ノ改良發達、或ハ林產物ノ生産配給ノ適正ヲ圖ルト云フ具體的ノ仕事ハ、自治的ニ林業會ヲシテ出來ルデケ行ハシテ行カウ、而モ中央政府ノ方針ノ決定ニ付テモ、出來ル限リ林業會ノ意向ヲ採リ入レヨウ、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス

○國司委員 サウシマスルト、主導權ハ飽クマデモ政府ガ握ツテ居ラレマシテ、些末のナコトデケラ林業會ニ任セルト云フ趣旨ナノデハゴザイマセヌカ

○平川政府委員 些末のナコトト云フ譯デアリマセヌガ、國ノ大キナ方針ト云フモノハ、是ハ政府ガドウシテモ決メナケレバナラヌコトデアル、唯政府ガ決メルニ際シマシテ、林業會ノ意向ト云フモノハ十分ニ聽キ、其ノ上デ又之ヲ實行スルニ際シマシテハ、林業會ノ自治的ナ活動ニ依ツテ實行シテ行カウ、出來ルデケ自治的ナ活動ニ依ツテ行カウト云フノデアリマスルカラ、些末のナコトト根本的のナコトト云フノデハナクシテ、大キナ政策ヲ決メマスコトハ政府ガドウシテモヤルガ、併シ其ノ政策ヲ實行スルコトハ林業會ガ自

治的ニヤツテ行ク、斯ウ云フ考ヘデアリマス

○國司委員 サウシマスルト、政策ノ決定竝ニ指導監督ト云フヤウナ行政面ハ、政府ガ飽クマデモ握ツテ居ラレ、實際ニ於テ此ノ林業會ノ目的ヲ果サンガ爲メ色々ナ事業ト云フモノハ、民間ヲシテヤラセルコトヲ本體トスルト云フ御趣旨デゴザイマセヌカ

○平川政府委員 其ノ通りデアリマス

○國司委員 森林法ノ第六十二條ヲ見マスルト、森林生産ノ保護ヲ圖ルト云フコトヲ大キク誦ツテ居ルヤウデゴザイマスルガ、林業ノ改良發達ト云フ所謂本法ノ目的トスル事項ガ、此ノ森林組合ヲシテ是ト併行的ニヤラスコトニ依ツテ、或ハ森林組合ノ活動ニ依ツテ、十分達成シ得ルト云フヤウナコトデハゴザイマセヌカ

○平川政府委員 森林組合ノ目的トスル所ト、林業會ノ目的トスル所トハ固ヨリ重複ヲ致ス譯デアリマス、森林組合ハ森林生産ノ保護ヲ圖ルト云フ主目的ト致シマシテ、ソレニ必要ナ事業ヲヤツテ參ル譯デアリマス、林業會トシテハ固ヨリ森林生産ノ保護ヲ圖ルトコトハ、林業ノ改良發達ト云フ中ニ入ル譯デアリマス、唯此ノ目的ヲ達シマスル爲ニハ、森林組合デケハ必ズシモ萬全デナイ、同時ニ所謂林業業者等ノ協力モ得ナケレバ此ノ目的ハ達成シナイ、ソレデ此ノ兩者ノ協同ヲ圖リマス爲ニ、兩者ヲ合セテ林業會ト云フモノヲ構成シヨウ、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス

○國司委員 サウシマスルト、森林法ノ七十條デゴザイマスルガ、出資ヲシタ森林組合ハ「森林產物ノ運搬、加工、保管及販賣ニ關スル施設ヲ爲スコトヲ

得」ト、其ノ第二項ノ第一號ニ誦ツテ居リマスルケレドモ、此ノ第二項第一號ノ所謂森林組合ノ事業目的トスル所トガ、殆ド重複シテ居ルヤウニ見受ケラレルノデゴザイマスガ、如何デゴザイマセヌカ

○平川政府委員 森林組合ノ本來ノ目的ト致シマシテハ、森林生産ノ保護ヲ圖ルト云フ所ニアルノデアリマスルガ、併シ其ノ保護ヲ圖ル爲ニハ、同時ニ出資ヲ致シテ、斯様ナ組合員ノ生産物ノ共同加工販賣ト云フ所マデ行フコトガ適切デアルト云フヤウナ場合モ、相當アラウカト思フノデアリマシテ、サウ云フ場合ニ備ヘマスル爲ニ、第七十條ノ方デ斯ウ云フコトモ森林組合ハヤラウト思ヘバ出來ル、斯ウ云フ風ニ規定致シタノデアリマス、併シナガラ現在ノ實情ニ於キマシテ、總テノ森林組合ガ此ノ仕事ヲ完全ニ限ナク行ツテ屬ルカト云フト、サウ云フ實情デアリマセヌ、隨ヒマシテ此ノ林產物ノ加工販賣ト云フコトヲ事業ト致シテ居リマスル業者ト云フモノガ、多數存在シテ居ル譯デアリマス、是ハ同ジコトヲ兩方ガヤルコトニナリマスガ、併シ現實問題トシテ、兩方ニ之ヲ認メテ行カナケレバナラヌト云フ實情ニアルノデアリマス

○國司委員 第七十條ニ依ル事業ヲ營ンデ居ル組合ト、ソレカラ斯ウシタ事業ヲ營マナイ組合トノ比率ハドウ位デアリマスカ

○平川政府委員 現在一寸ハツキリシタ數字ハ覺エテ居リマセヌカラ、後程調べマシテ御答ヘ致シマス

○國司委員 森林法ノ第七十條ニ依リマスルト、「森林產物」ト云フ字句ヲ用ヒテ居ラレマスガ、此ノ第一條ニハ

明カニ「林産物」トゴザイマス、其ノ差
異ハ何處ニアルノゴザイマセウカ
○平川政府委員 是ハ別ニ差異ハゴザ
イマセス

○團司委員 ソレデハ同一ニ解シテ差
支ヘナイデスネ

○平川政府委員 差支ヘゴザイマセス
○團司委員 サウ致シマス森林法第
五章ノ規定ヲズツト讀ミ見マス、
此ノ規定ハ戰時中ノ規定デアリマスガ
故ニ、強制的ナ色彩ガ非常ニ濃厚ナ
デアリマス、所デ林業會法ハ民主的ナ
法律ノ建前ヲ主トシテ居ラレウデ
ゴザイマスガ、此ノ強制的ナ所謂官治
政策トデモ言ヒマセウカ、サウ云フ色
彩ノ濃厚ナ森林法ノ第五章ノ規定ヲ、
御訂正ニナル御意思ハナイモノデセウ
カ

○平川政府委員 森林組合ノ方ハ施業
ノ協同ト云フヤウナコトヲ、ドウシテ
モヤラナケレバナラスノデアリマス
デ、差當リ此ノ第五章ヲ修正スル意思
ハ持ツテ居リマセス

○團司委員 差當リハ難カシイカモ知
レマセスケレドモ、先般來同僚諸君ニ
依ツテ其ノ法案ト云フモノガ極メテ片
手落デアル、少クトモ森林組合ニ關ス
ル限りハ、此ノ法條ノ中ニ規定ヲ缺イ
テ居ル、是ガ此ノ法ノ缺陷デアルト云
フヤウナコトヲ御指摘ニ相成ツテ居リ
マスケレドモ、サウ致シマス、何レ
本法ガ改正ニナリマス其ノ際ニ、此ノ
森林法ノ第五章ノ規定ヲ修正致シマシ
テ、此ノ中ニ幾達マレル御意思ハゴザ
イマセウカ

○平川政府委員 差當リハ修正致ス考
ヘハ持ツテ居リマセウカ、將來尙ホ研
究致シマシテ必要ガアレバ修正致シタ
イト思ヒマス

○團司委員 若シサウ云フ時ガ參ルモ
ソト致シマシテ、此ノ森林法ノ七十條
ト、ソレカラ本法ノ六十六條以下ノ林
産組合ニ關スル規定、之ヲ總メマシ
テ、寧ロ其ノ際ニハ森林組合ヲシテ林
産組合ニ行ハシメントスルヤウナ事業
マデ、所謂林材一貫作業ノ建前ノ上
ニ、御修正ニ相成ル御意思ハゴザイマ
セスデセウカ

○平川政府委員 先程申シマシタヤ
ウニ、現實問題ト致シマシテ森林組合
ガ全部ニ等ノ仕事ヲ行ハレバ、是モ
一ツ考ヘ方カト思ヒマスガ、併シ實際
問題トシテソレハ當分別メナイコトデ
ハナイカ、森林組合ノ發達ニ付テハ我
我モ努力致シマスケレドモ、併シ實際
問題トシテ林産物ガ圓滑ニ生産サレ、
圓滑ニ配給サレルト云フ結果ニナラナ
ケレバナナイノデアリマス、恐ラク
ハ當分ノ間ハ、兩建行クト云フコト
ニナラザルヲ得ナイデハナイカト思ヒ
マス

○團司委員 所デ此ノ森林組合ト林産
組合ト云フモノトハ、本質的ニ利害相反
スルデハナイカト思ハレルノデアリマ
ス、此ノ利害相反スル所ノ二ツノ組合
ヲ林業會ガ擁シテ、之ヲ圓滑ニ運轉致
シテ、生産並ニ配給ノ面ニ於テモ、互
ヒニ摩擦ノナイヤウニ事業運轉ヲヤツ
テ行クト云フコトハ、實ニ困難ナコト
デハナイカト思ハレルノデアリマス、
寧ロ一歩ヲ進メマシテ、森林組合ニ原
始生産カラ加工生産マデ、林材一貫作
業ヲヤラシメタ方ガ、寧ロ今後ノ森林
行政ノ上ニ望ミシイコトデハアルマイ
カト思ハレルノデアリマスガ、此ノ點
如何デセウカ

○平川政府委員 其ノ困難ナルコトハ
我々モ全ク御同感デアリマシテ、是ハ

容易ナコトデハナイト思ヒマス、思ヒ
マスケレドモ、サレバト云フ一方ノ
現實ノ問題トシテ、林産物ノ生産配給
ニ相當ノ實力ヲ持ツテヤツテ居ル者ヲ
無視致スコトハ出來ナイダラウト思ヒ
マス、隨ヒマシテ森林組合ガ一貫的ニ
林産物ノ生産カラ配給マデヤルト云フ
コトモ結構デアリマスケレドモ、併シ
ソレハ其ノ實力ガ其ハツタ時ニヤルベ
キコトデアツテ、現在ノ建前トシテハ
飽クマデモ現實ニ立脚致シマシテ兩建
行ク、隨テ此ノ兩者ノ間ノ調整ト云
フコトハ非常ニ難カシイコトデハアル
ケレドモ、之ニ努力ヲ致スト云フ以外
ニハ適切ナ方法ガナイ、詰リ非常ニ困
難デハアルケレドモ、斯ウ云フ制度ガ
現在ノ問題トシテハ最善デハナイカト
云フ風ニ考ヘテ居リマス

○團司委員 成程サウ云フ考ヘ方モア
ラレルト思ヒマスケレドモ、製材業者
或ハ木材業者ノ適當致シテ居リマスル
其ノ部門ニ 森林組合ノ中ニ製材部門
或ハ木材部門ト云フモノヲ置キマシ
テ、サウシテ其ノ部門ヲ其ノ道ノ機能
者ニ擔當セシメルト云フヤウナ考ヘ方
モアルト思ハレルノデアリマスガ、如
何デアリマスカ

○平川政府委員 サウ云フ考ヘ方モア
リ得ルカモ知レマセウカ、併シ森林組
合ハヤハリ森林所有者ガ中心ニナツ
テ、造林其ノ他林産物ノ資源ノ保護ト
云フ大キナ役目ヲ一方ニ持ツテ居ル譯
デアリマス、餘リニ目的ガ多岐ニ互リ
マスコトハ、却ツテ團體トシテノ力ヲ
弱メルコトニナリハシナイカト思ヒマ
ス、森林所有者ハ所有者トシテ、他
ノ者ノ持ナイ一ツノ大キナ目的ヲ持
ツテ居ルノデアリマスカラ、是ハ一ツ
是ダケノ單位ガ總メ、併シ同時ニ林

産物ノ生産ナリ加工ナリト云フ面ニモ
關聯ヲ持タマスルカラ、サウ云フ意味
ニ於テ是等ノ事業トシテ居リマスル人
ヲ、何等カノ形ニ於テモウ一度繋ガ
ルト云フヤウナ、現在ノ本案ノ如キニ
團體ノ結成ト云フコトハ適切デハナイ
カ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○團司委員 森林所有者ト云フモノ
ハ、所謂一番原始的ナ役割ヲ果シテ居
ル譯デアリマス、謂ハバ下程ニナツテ
居ル譯デアリマス、森林組合ニ對シテ
森林所有者ハ賦金モ納メナケレバナラ
ヌ、更ニ又林産組合ニ對シテ、公定價
格ノ開キモアリマセウシ、或ハ賦金ト
カ、手数料トカ云フ形ニ於テノ經費ノ
負擔ヲシナケレバナラスト云フコトニ
ナリマス、森林所有者ガ製材業者、
或ハ木材業者ノ手ヲ放シテ、其ノ林木
ガ市場ノ價格ヲ持ツマデニハ、一體ト
ノ位其ノ間ノ開キヲ當局ハ見テ居ラレ
ルノデアリマスカ

○平川政府委員 具體的ノ數字ヲ只今
申上ゲルコトハ困難デアリマスルガ、
併シ此ノ團體ノ經費ト云フモノハ極メ
テ微細ナモノデアリマシテ、勿論立木
ノ價格ト製材ニナツタ場合ノ價格ト
ハ、ソレハ大變ナ開キニナルノハ當然
ナコトデアリマス、所謂途中ニ團體ガ
存在スル爲ニ開キガ生ズルト云フモノ
ハ、是ハ所謂經費トシテ賦課セラレ
程度ノモノデアリマシテ、事務費等ニ
充テル程度ノモノデアリマス、此ノ二
ツノ團體ガ存在スル爲ニ、森林所有者
ノ負擔ガ非常ニ多クナルト云フコトハ
ナイト考ヘテ居リマス

○團司委員 實際ニ於キマシテハ、其
ノ間公定價格ノ面、或ハ又當局ノ御考
ヘニナツテ居リマスルヤウナ事情ダツ
タナラバ、ソレ程負擔ハナイカモ知レマ

セマスケレドモ、實際我々ガ見聞致シテ
居リマスル市場ノ價格ニ於テハ、其ノ
間相當ノ開キガ認めラレルノデアリマ
ス、實例ハ幾ラモアルノゴザイマス
ケレドモ、サウシテ實例ハ斯ウ云フ機
會ニ述べルコトハ果シテドウカト思ヒ
マスカラ遠慮致シマスケレドモ、森林
ニ對シテ少クトモ三十年乃至五十年ト
云フモノヲ汗水流シテ維持育成シ、ソ
レヲ主要ナ財産ト致シテ居リマスル森
林所有者トシテ、ソレガ森林組合ノ正
當「ルート」ノ經費ダツタナラバソレ程
問題ハナイデアリマセウケレドモ、決
シテサウ云フ「ルート」ノモノバカリデ
ハナイノデアリマシテ、其ノ間ドコノ
組合ヲ見マシテモ、森林所有者カラ森
林組合ニ對スル非難ハ相當ニ聞カレル
ノデアリマス、尙ホ其ノ上ニ林産組合
ト云フモノヲ作りマシタ場合ニ於テ
ハ、森林所有者ノ怨嗟ニ近イマデノ聲
ト云フモノハ、相當高クナルノギヤナ
イカト思ハレル、サウ云フ御考慮ヲナ
サツタ場合ニ於テ、果シテ森林組合ノ
外ニ林産組合ヲ作ル必要ガアリヤ否
ヤ、此ノ點如何デゴザイマセウカ

○平川政府委員 少シ御質問ヲ誤解シ
テ居ツタカト思フノデアリマスガ、森
林所有者ガ森林組合ニ加入シテ居リマ
ス其ノ森林組合ニ於テ、加工ナリ販賣
ナリヤツテ居ルト云フヤ
於キマシテハ、此ノ森林所
於キマシテハ、此ノ森林所
於キマシテハ、此ノ森林所

テ林産組合ニ加入スル必要ハ必ズシモ
ナイノデアリマス、其ノ場合ニハ森林
組合ガ其ノ加工ナリ販賣ナリヲ致シマ
スカラ、其ノ場合ニハ兩方ニ重ネテ同
ジ森林所有者ガ入ルト云フ必要ハナイ
ノデアリマス

○團司委員 サウシマス第六十六條
ニ規定シテ居リマスル此ノ林産組合ト

云フモノ中ニハ、森林法七十條ニ依
リマシテ所謂製材業、木材業ヲ營シ
居リマスル森林組合ハ、加入スル資格
ガナイノデゴザイマセウカ

○平川政府委員 資格ガナイ譯デア
リマセヌノデ、加入シテモ差支ヘアリ
マセヌケレドモ、加入シナクモ差支
ヘナイ、加入シナイカト云ツテ、ソ
レニ對シテソレデハ林産物ノ加工ナリ
或ハ販賣ナリ行ハセナイカト云フ
ト、サウ云フコトハナイ、デアリマス
カ
加入スル資格ハアリマスケレドモ、
シナクモ差支ヘナイ、斯ウ云フ結論
ニナル譯デアリマス

○團司委員 サウ致シマスト第六十七
條ノ第二項デゴザイマスガ、林産組合
ニ對スル所謂臨時のナ政府ノ事業、斯
ウ云フヤウナコトガ行ハレナイ、詰リ
森林法七十條ニ依ツテ設立サレテ居ル
森林組合ハ、斯ウシタコトノ適用外ニ
アル、斯ウ云フ關係上ニ立ツト思フノ
デアリマスガ、其ノ點如何デスカ

○平川政府委員 其ノ點ハ實ハ昨日大
分問題ニナツタノデアリマスガ、確カ
ニ法文ノ形式上、森林組合ノ方ニハ、
此ノ六十七條ノ第二項ニアリマスルヤ
ウナ法文ガゴザイマセヌ、併シナガラ
此ノ第二項ノ方ノ事業ト云フノハ臨時
のナ事業デアリ、又此ノ第一項ノ方ノ
事業ヲ行フニ伴ヒマシテ出テ來ル事業
デアリマス、隨テ此ノ規定ガナイカラ
此ノ事業ハ行ヘナイカト云フト、サウ
云フコトハナイノデアリマス、デアリ
マスカラ例ヘバ森林組合ガ定款ニ於
テ、自分達ノ組合ニ關スル限リニ於
テ、此ノ第二項ニ掲ゲテアルヤウナ事
業ヲ行ハウト云フコトヲ定メテ、總會
デ決議ヲ致シマスレバ行クコトガ出來
ル譯デアリマス、此ノ第二項ノ方ハ注

意のニ書イテアル譯デアリマス、併シ
ナガラ其ノ明文ガナイ爲ニ之ガ出來ナ
イト云フヤウナ解釋ヲ取ラレル虞ガア
ルデアリマセウ、故ニ明文ニ書イタラ
宜カラウト云フコトガ、昨日ノ御意見
デアツタノデアリマス、若シ其ノ必要
アリトスレバ、勅令等ヲ以テスルト云
フ御答ヘヲ致シタノデアリマス

○團司委員 次ニ第三條デアリマス
ガ、「林業會は、法人とする。」トアリマ
スガ、是非非營利法人ノ意味デアリマ
スカ
○平川政府委員 森林法ニアリマスル
「營利ヲ目的トセサル社團法人トス」ト
云フ書キ方ハ略變致シマセヌデシタケ
レドモ、是非モウ法文ノ最近ノ形デア
リマシテ、營利ヲ目的トセサル社團法
人デアリマス

○團司委員 サウシマスト、法第四十
四條乃至第四十七條ニハ剩餘金ニ關ス
ル規定ガアリマスケレドモ、此ノ剩餘
金ヲ生ジテ會員ニ對シテ配當セ出來
ル私共モ商工省ト交渉ガアルノデア
リマスガ、商工省ノ見解デハ荷クモ
剩餘金ヲ生ジテ之ヲ配當スルヤウナ組
合ハ、營利ヲ目的トセザル法人デハナ
イ、詰リ營利法人デス、斯ウ云フヤウ
ナ見解ヲ取ツテ居ラレルヤウデアリマ
スガ、是ト矛盾シナイデスカ

○平川政府委員 商工省ガサウ云フ解
釋ヲシテ居ルコトハ存ジマセヌガ、併
シハ營利ヲ目的トセザル法人デア
ルト云フコトハ、營業稅等ヲ課セテ居
ヌコトヲ見マシテモ明カデアリマス
○團司委員 商工省所管ノ幾多ノ統制組
合ガゴザイマスガ、其ノ統制組合ガ今
回ノ緊急措置ノ例外ヲ求メテ、八月十
一日ノ封鎖以前デゴザイマスガ、大抵
省ニ封鎖預金ノ解除ヲ申請スルコトガ

出來ル、營利法人デナイ營利ヲ目的ト
セヌ法人ハ、封鎖預金ノ解除ヲ申請ス
ルコトガ出來ルト云フノデ、私ノ與カ
ツテ居リマス統制組合ハ、營業稅モ免
除サレテ居ルノデ、之ヲ持つテ行キマ
シタ所ガ、商工省デハ、成程法文ノ上
デハ營利ヲ目的トセザルヤウニナツ
テ居ルケレドモ、明カニ實態ガ、實際ニ
於テ剩餘金ガ生ジ、之ヲ組合員ニ對シ
テ配當シテ居ル以上ハ、營利法人ト看
做ス、斯ウ云フヤウナ解釋ヲ下サレ
テ居ルヤウデアリマスガ、此ノ點ハ如何
デスカ

○平川政府委員 是非營利ヲ目的トシ
テ居ルト云フ解釋ト申シマスヨリハ、
アノ封鎖ノ關係ニ於キマシテハ、教育
トカ慈善トカ云フヤウナ、非常ニ狹イ
範圍ノ公益團體ノ封鎖預金ニ付テハ、
特別ノ扱ヒヲスルト云フ考ヘナノデア
リマス

○團司委員 ソレハ現在ノコトデ、私
ノ言フノハ其ノ前ノコトデアリマス
○平川政府委員 サウ云フ風ニ私共ハ
開イテ居ルノデアリマシテ、營利ヲ目
的トスルモノデアルカラト云フコトデ
ハナイノデハナイカト私ハ思ツテ居
マス

ハ、昨日モ問題ニナツタノデアリマス
ガ、一番重要ナ勞働力ニ關シマシテ何
等ノ規定ガナイト云フコトハ、本法ノ
缺陷デアルト思ヒマス、サウシタ肝腎
ノ勞働力ト云フヤウナ面ニ關シマシ
テ、將來御改正ニナル御意思ガアルカ
ドウカ

○平川政府委員 是非非常ニ難カシイ
問題デアリマスノデ、能ク研究致シマ
シテ、ソレガ適切デアルト云フ結論ニ
達シマスレバ、何等カノ形デ之ニ加
ルト云フコトヲ研究シテ見タイと思
マス

○團司委員 森林法ノ施行規則ノ第五
十九條ニ依リマス、政府ハ森林組合
ノ組合員トナル義務ガナイ、斯ウ云フ
規定ガアリマスガ、山林局デハ官行事
業ヲ行ツテ居ルコトハ申サデモナイ
コトデ、サウシタ山林局ノ所謂現場ノ
事業ト云フモノハ、一體此ノ林業會ノ
外ニ立ツモノデゴザイマスガ

ハ、能ク緣故拂下ト云フヤウナコトヲ
オヤリニナツテ居ルヤウデアリマスケ
レドモ、其ノ緣故者ト云フモノニ對ス
ル明確ナ範圍ト云フモノハ決マツテ居
ラレルノデアリマスガ

○中尾政府委員 只今緣故特賣ヤツ
テ居リマスモノハ、用材デハアリマセ
ヌ、薪炭材ノ特賣ハ緣故ニ依ツテ拂下
ゲテ居ルノガアルノデアリマス、是ハ
從來カラ國林有ノ保護等ニ付キマシ
テ相當功績ノアツタ部落等ニ對シテ、特
賣ヲ致シテ居ルノデアリマス

○團司委員 茲デ少シ國有林ノ關係ヲ
御伺ヒ致シタイと思フノデアリマス
ガ、國有林ノ統計ハ概キマシタガ、各
營林局別ニ、一體其ノ收入支出、或ハ
純益ノ關係ハドンナ風ニナツテ居リマ
スカ

○中尾政府委員 營林局別ノ今ノ收支
ノ關係ハ、後デ取調ベマシテ御答ヘ致
シマス

○團司委員 此ノ統計ヲ拜見致シマス
ト、東北地方ハ非常ニ國有林ガ多ク、
壓倒的ト云フテモ宜イ程國有林ノ面積
ガ多イノデアリマスガ、是ハドウ云フ
ヤウナ理由ガアルノデアリマスガ

○平川政府委員 是ハ昔藩ガ廢止ニナ
リマシテ、國有林ニ編入ニナリマシタ
際ニ東北ノ方ニ斯ウ云フモノガ多カ
シタノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマ
ス

○團司委員 我々東北ニ居ル者トシテ
ハ、東北ガ明治維新ノ際ニハ賊軍デ、
其ノ懲罰ノ意味ニ於テ國有林ニサレ
タト云フコトモ聞イテ居ルノデアリマ
ス、或ハ東北ノ人間ト云フモノハ、聊
カ時勢ヲ見ルコトニ對シテ愚鈍デア
ツテ、山林ト云フモノハ迷ケテ行カ
ナイノデ、金ニ換ヘルト直グニ飛ンデ行ツ

テシマフケレドモ、山林ナラバ決シテ地元カラ離レナイ、地元カラ離レナイトスルナラバ、之ヲ個人ノ所有ニスルヨリモ、國有ニシテ置イタガ宜イト云フコトニ依リマシテ國有林ガ東北ニ多クナツタ、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスレバ、元々ガ個人ノ所有ニスベキモノデアルケレドモ、官有ニシテシマツタノマ、其ノ間別ニ法理的根據ガナイト云フコトヲ言ツテ居リマス、ソレハ今ノ御答辯デラズトモ遠カラズト了解シテ宜イデアリマス

○平川政府委員 サウ云フ話ヲ我々モ耳ニシタコトガゴザイマスガ、併シハツキリシタ證據モアリマセヌノデ、能ク分リマセス

○國司委員 東北地方ノ資源ト云フモノハ極メテ貧弱デアリマス、多イモノト云ヘバ森林資源ナドハ其ノ一ツニ算ヘラレルノデアリマスケレドモ、其ノ森林資源ガ所謂官有林ニナツテ居ルト云フコトハ、東北民ノ經濟ニ對シテ大キナ影響ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ事實ハ過去ニ於テ政府ノ方デハ御認メニナツテ居ルノデアリマス

○平川政府委員 東北地方ノ國有林ノ面積ガ大キイト云フコトハ、東北ニ取リマシテ相當大キナ影響ガアルダラウト云フコトハ考ヘテ居リマス、併シナガラ國有林ノ當局ト致シマシテハ、東北ノ資源ヲ奪ヒ取ツテ全國ニ均霑スルト云フコトノ弊害アリマセヌヤウニ、色々ナ手段ヲ以テ東北ノ地元ニ對スル施設ヲ講ジテ居ルデアリマス、例ヘバ地方税ニ當ルベキモノ——假ニ民有デアレバ、地方税トシテ徴收セラルデアラウ程度ノモノハ、是ハ金額ハ僅カデアリマスケレドモ、約百萬圓バカリノ金ヲ、東北地方其ノ他國有林

ノ地元町村ニ對シテ交付スルト云フヤウナコトヲヤリマス、或ハ國有林ノ中ノ可ナリ大キナ面積ヲ、地元ニ對シテ委託林トシテ開放スル、或ハ部分林ヲ設定スルト云フヤウナ色々ナ方法ニ依リマシテ、國有林デアアルガ爲ニ、地元ガ不當ニ損害ヲ受ケルト云フコトノナイヤウニ、努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス

○國司委員 東北地方デハ、多年東北地方ノ凡ニル森林ヨリ生ズル純益ト云フモノヲ、地方ニ還元シテ、地方發展ノ爲ニ之ヲ使ツテ實ヒタイ、斯ウ云フヤウナ要領ニ對シテ參照シテ居ルコトヲ私ハ聞イテ居ルノデアリマス、又昭和五、六年頃マデノ統計シカ私ハ知リマセヌケレドモ、最近ノ統計ヲ探シテ見シタガ、分リマセヌノデ、先程御伺ヒ致シタノデアリマスガ、全國ノ森林局ノ山林收入ト云フモノニ總計致シマス、純益デ僅カ六七千萬圓、多年ハ八九千萬圓ニ上ツテ居ルヤウニモ記憶致シテ居リマス、其ノ大半ガ東北地方ニ、詰リ青森、秋田、營林局管内デアツタト思ハレルノデアリマスガ、サウシタ東北地方ノ山林ヨリ生ズル收入、ソレニ支出致シマシタル政府ノ經費ト云フヤウナモノヲ、ハツキリト御調べニナツタコトガ當局デハゴザイマシタデセウカ

○平川政府委員 ソレハハツキリ數字ガ分リマス、後程申上ゲマス

○國司委員 次ハ東北地方デ、詰リハ民有林ノ所有者デアリマスガ、多年ニ亘ツテ山林當局、或ハ稅務當局ニ對シマシテ、色々ト陳情ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ中デモ所得稅ニ關スル必要經費ノ控除、其ノ中ノ控除ノ率デゴザイマスガ、皆伐ニ對シテハ三割乃至四割、間伐ニ對シテハ五割以上、

之ヲ必要經費トシテ控除シテ實ヒタイト云フヤウナコトガ、東北ノ森林組合聯合會一致ノ決議トシテ陳情致シテ參照シタノデアリマス、其ノ跡始末ハドウ云フ風ニナリマシタデセウカ、當局ニ御分リニナツテ居ラナイノデアリマス

○平川政府委員 只今御話ノ陳情ヲ具體的ニ私ハ存ジテ居リマセヌデスガ、山林所得ニ對シマシテハ、特ニ輕減シタ低率ノ所得稅ヲ課シテ居ルコトハ、從來カラノ通リデアリマス、尙ハ戰時中ニ臨時措置ヲ致シマシテ、過伐ニ陷ツタヤウナモノニ對シマシテハ、之ニ對シテ一定ノ減免ヲスル制度ガアリマシタコトモ御承知ノ通りデアリマス、今後モアノ制度ハ存続スルコトニ致シマシテ、一定ノ割當數目ノ六割以上ヲ生産シマシタ分ニ對シマシテハ、半分ヲ減免スル、斯ウ云ツタヤウナ制度ガゴザイマス、其ノ他所得稅ニ付キマシテハ、特別ノ措置ヲ執ツテ居リマス

○國司委員 東北地方ハ何分ニモ十一月ノ初メ頃カラ四月半頃マデハ、雪ノ中ニ埋マツテ居リマスシ、其ノ間ニ於ケル寒凍デアルトカ、降雪デアルトカ、或ハ雪崩、サウ云フ雪害ニ依リマシテ非常ナ損害ヲ蒙ルノデス、體カ農林省ノ雪害調査ノ、山形縣ノ新庄ニアリマスル積雪地方農村經濟調査所ノ調査シタ所ニ依リマス、昭和十四年ノ初メカラ昭和十五年ノ早春ニ至ルマデノ間ニ於テ、六百二十五萬三千六百圓ト云フヤウナ損害額ガ現ハレテ居リマスルケレドモ、是ハ唯單ニ所謂可算的ナ損害デアリマシテ、不可算的ナ損害ハ極メテ多イモノダラウト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ於キマシテモ、只今申上ゲマシタ所謂山林ノ所得

ニ對シテノ稅ノ輕減ト云フコトニ對シテ、相當ノ御考慮ヲ拂ハレルヤウ、山林當局カラ特ニ大藏省當局ニ對シテ御折衝願ヒタイト思ヒマス、尙又此處ニ御願致シマスコトハ、造林費或ハ育成保護費トカ、或ハ林道修理費トカ、其ノ他色々ナ所要經費ト云フモノガ、東北地方ハ他ノ地方ヨリモ多額ヲ要スルト云フ點ナノデアリマスガ、サウシタ點ニ付テ政府トシテ青森營林局ナリ、或ハ秋田營林局ナリニ付テ御調べニナツタモノガアリマス

○平川政府委員 只今ノ御話ノ點ハハツキリシタ記憶ハアリマセヌガ、調査シタモノハ多分ナイノデヤナイカト思フノデアリマス

○國司委員 國有林面積ノ極メテ大ナル東北地方ニ於キマシテ、民間ニ於ケル調査ハ中々容易ナラザルモノデアリ、且又今日マデ民間調査シタモノハ、餘リ信憑力ヲ持タヌヤウニ取扱ハレテ參照ナノデアリマスガ、サウ云フ點カラ致シマシテ國有林野ノサウシタ調査ハ大キナ基準ニナルモノデアルト思ヒマス、是非青森營林局及秋田營林局ニ於テハ、今後サウ云フ御調査ヲ御願ヒシタイト云フコトガ一ツト、サウ云フ問題ニ關シテ特ニ林業會トシテ、詰リ地方ノ事情ノ違ツタ面ニ於テ、色々ナ調査研究ヲ行ヒ、其ノ結果ヲシテ政府ノ施策ニ反映セサル、斯ウ云フヤウナコトニ對スル何カ御指導トデモ云ヒマス、サウ云フ御方針ガオアリデアリマス

○平川政府委員 サウ云フ調査ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ直接ニ致シヤウニ致シタイト思ヒマス、又林業會等ニ對シマシテモ補足的ニ、又或ハ立場ガ違ヒマスルノデ、色々ナサウ云フ

資料ヲ以テ政府ノ施策ニ反映セシメルト云フコトモ適切カト思ヒマス、之ニ對シマシテモ助成金等ノコトモ考ヘテ參リタイト思ヒマス

○國司委員 元ニ戻リマシテ、第六十七條デアリマスガ、林産組合ニモ統制規定ト云フモノガ制定セラレルトナルト思フノデゴザイマス、此ノ林産組合デ制定致シマス所ノ統制規定ト、林業會ガ制定致シマス所ノ統制規定ト、間ニ、ドウ云フヤウナ差異ガ認メラレマス

○平川政府委員 是ハ林業會ノ自治統制ハ、會員タル森林組合及ビ林産組合ニ對シテ統制ヲ致ス譯デアリマスガ、林産組合ガ個々ノ業者ニ對シテ行フ統制ト云フモノハ、多少内容ガ異ツテ居リマス、サウ云フ程度ノ違ヒデアリマシテ、アトハ特別ノ違ヒハアリマセヌ

○國司委員 此ノ六十六條ノ林産組合ト云フモノハ、政府デ豫想シテ居ラレマスル所デハ、町村マデ豫想シテ居ラレマス

○平川政府委員 林産組合ノ方ハ、木材ニ關シマスル限リハ、恐ラクハ或ル地區單位デハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シ是ハ地方ノ實情ニ依リマシテ、別ニ政府ノ方ト致シマシテ、ドウ云フ指圖ヲ致シ積リハアリマセス

○國司委員 サウ致シマスルト、此ノ六十七條ノ統制規定ト云フモノハ、例ヘバ縣ノ林産組合デアツタナラバ、縣トシテ統制規定モ作ラナケレバナラシ、地區ノ林産組合デアツタナラバ、又地區トシテノ統制規定モ作ラナケレバイカヌ、更ニ其ノ株ガアルナラバ、其ノ株ニ付テモ統制規定ヲ作ラナケレバイカヌト云フヤウナ工合デ、統制ガ

非常ニ煩瑣ニナツテ、受ケル面カラスレバ、二重ニモ、三重ニモナルデヤナ
イカ、斯ウ云フヤウナ杞憂ガ持タレル
ノデアリマスケレドモ、此ノ點ハ如何
デアリマスカ

○平川政府委員 御話ノ通り數段階ヲ
經マスル場合ニハ、稍々煩瑣デハアリ
マスルケレドモ、併シ團體ノ機構ガ段
階的ニナツテ居リマス以上ハヤハリ
已ムヲ得ナイ、是ハ現在マデ戰時中ノ
ナンデアリマスケレドモ、各種ノ商工
組合等ノ統制モ、斯ウ云フ風ナ調子デ
ヤツテ居リマスノデ、運用ハ出來ルダ
ラウト思ヒマス

○團司委員 我々モ實際ニ統制組合ヲ
扱ツテ居リマシテ、統制規定デ運営致
シタコトガアルノデゴザイマスガ、自
主的ニナリマスルト、此ノ統制ト云フ
モノガ、ドウモ理事者ノ思フヤウニハ
行カヌ、隨テ惡イコトヲスルモノハ何
時マデモ惡イコトヲシテ、正直者ハ馬
鹿ヲ見ル、斯ウ云フヤウナ運営ニ流レ
易イバカリデナク、業界ノ統制ト云フ
モノニ對シテ、動モスルト官吏ノ方デ
ハ協力ヲ致サナイ、作ル時ダケハ作リ
マスケレドモ、アトノ運営ガ行政官廳
ノ協力ナシニハヤリ得ナイト云フ面ガ
アルニモ拘ラズ、中々協力ヲシナイト
云フヤウナ實情ガマ、見受ケラレタノ
デアリマスガ、有名無實ニ終ラセルコ
トナク、シツカリオヤリニナル御考ヘ
ダラウト思フノデス、サウシタ林業會
ガ此ノ統制規定ニ對スル實際ノ運営ヲ
ナサントスル場合ニ、政府デハ積極的
ニ之ニ對シテ御協力ナサルト云フヤウ
ナ意圖ハ、ハツキリシテ居ラレルト思
フノデスガ、如何デスカ

○平川政府委員 飽クマデモ自主的ナ
統制ト云フモノヲ尊重致シマスケレド
モ、假ニ組合ノ方カラ協力ヲ求メラレ
ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、
是ハ出來ルダケノ協力ヲ致サナケレバ
ナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○團司委員 林業會ガ自主的ニ事業ヲ
運営スル場合ニ於キマシテ、動モスレ
バ行政官廳ガ率直ニ之ヲ見ナイデ、裏
カラ見ラレル嫌ヒガ多分ニアル、或ハ
勢力爭ヒデアルトカ、アノ派ノモノガ
業界ヲ牛耳ツテ居ルカラ、アノ理事ノ
言フコトハマトモニ受ケラレヌト云フ
ヤウナコトヲ、往々ニシテ行政官廳ノ
方々ガ言ハレル場合ガ多イノデアリマ
シテ、ソレガ正シカルベキ自主的ナ統
制ガ行ハレ得ナイト云フ結果ニ相成ラ
ヌトモ限リマセヌノデ、サウ云フ點ハ
吳々モ下級官廳ニ對シマシテ、御通達
アラシコトヲ望ンデ置キタイト思フノ
デアリマス

ソレカラ御伺ヒ致シタイコトハ、第
七十一條デアリマス、林産組合ノ組合
員ハ、設立當時ニ於テ組合員タル資格
ヲ有スルモノニ限ツテ居ルノカ、或ハ
又第十三條ノ準用ガアリマスカラ、將
來組合員タル資格ヲ有スルニ至ツタモ
ノモ、其ノ組合員タル資格ヲ有スル時
ニ於テ加入ガ出來ル、斯ウ云フヤウニ
解釋シテ宜シウゴザイマスカ、其ノ點
御伺ヒ致シマス

○平川政府委員 資格ガ生ジマシタ時
ニハ、當然加入シ得ル譯デアリマス
○團司委員 第八十九條ニ依リマス
ト、本統法ノ規定ノ一部ノ效力ガ未ダ
存續致シテ、ソレヲ認メテ居ラレルヤ
ウデアリマスガ、サウナリマスルト、
今後製材業或ハ木材業ヲ營マントスル
者ハ、ヤハリ當局ノ認可ヲ必要トスル
ト云フコトニナルト思フノデアリマス
ガ、縣ニ依リマシテハ容易ニ其ノ認可

ヲ與ヘナイモノガアルノデアリマス、
終戰後所謂企業整備ニ依ツテ一旦企業
ヲ廢止致シタモノガ、再び他ニ用モナ
イト云フヤウナ關係カラ、製材業或ハ
木材業ノ認可ヲ當局ニ申請致シマシテ
モ、中々當局デハ言フ左右ニシテ認可
ヲ與ヘナイトカ、或ハ所要ノ設備ヲ持
ツテ居リマスル森林組合ガ、ヤハリ認
可ヲ申請シテモ之ニ對シテ認可シナ
イ、成程色々ノ事情モアリマセウ、當
局トシテ見レバ、請般ノ事情ヲ勘案シ
テ認可ヲ與ヘナケレバナラヌト云フコ
トハ分リマスケレドモ、併シ企業整備
ノ際ノ謂ハハ時局ノ犠牲ニナツタモノ
ハ、戰爭中ニ於テ非常ニ國家ニ對スル
無罪ナヤリ方ヲ強ヒラレ、ソレニ貢獻
シテ來タモノガ、再び從前ノ業ニ還ラ
ウト思ヒマシテモ、其ノ途ヲ固ク閉ジ
テ居ルト云フコトハ、果シテドウ云フ
モノデアリマセウカ、其ノ點山林局カ
ラ何カ御通達ガ各縣廳ニ出テ居ルト云
フ話モ聞イテ居ルノデアリマスケレド
モ、其ノ間ノ事情ヲ承リタイ

○平川政府委員 此ノ點ニ付キマシテ
ハ昨年ノ終リデアツタト思ヒマスガ、
各地方ニ通達ヲ致シマシテ、企業許可
ニ付テハ堅實ナルモノデアル限リハ、
積極的ニ許可ヲスルヤウニト云フヤウ
ナ通達ヲ致シテ居ルデケリマシテ、
御話ノ如キ縣ガアリト致シマスレバ、
是ハ指導ヲ致シマシテ、左様ナコトノ
ナイヤウニ致シタイト思ヒマス、此ノ
ノ企業許可ヲ殘シテ置キマスル意味
ハ、自治統制ト云フモノヲ尙ホ存續ス
ル必要ノアル限リハ餘リニ不信用ナモ
ノデモ何デモ濫立ヲスルト云フコトデ
アツテハ、自治統制モ困難ニナリマス
カラ、サウ云フ意味ニ於テ制約ヲ致シ
タ譯デアリマス、御話ノ如キ從來カラ

之ヲヤツテ居ツタ經驗モアリ、又信用
モアルト云フヤウナモノヲ許可シナイ、
或ハ森林組合ガ相當ノ力ヲ持ツテ居ル
ノニヤサナイ、サウ云フコトハコチ
ラトシテハ決シテサウ云フ趣旨デアリ
マセヌ、サウ云フコトノナイヤウニ指
導致シタイト思ヒマス

○團司委員 ソレハ山形縣ノコトヲ御
調ベ願ヘバハツキリ分ルノデアリマス
ガ、終戰後始テ企業許可ト云フモノヲ
與ヘテ居ラス、山林局カラ通達ガ參ッ
テ居ルト云フコトハ、所謂業ヲ廢メタ
連中モ知ツテ居ルヤウデアリマスケレ
ドモ、縣ノ林務課ハ頗被リシテ何等サ
ウ云フコトヲ知ラサヌ、認可ヲ申請シ
タ場合ニ於テハ、色々ナク實ヲ設ケテ
不認可主義ヲ執ツテ居ルト云フヤウナ
事實ガアルノデアリマシテ、ソレデ敢
テ申上ゲタ譯デアリマスガ、其ノ點能
ク御調査ノ上デ、只今ノ局長サンノヤ
ウナ御趣旨デゴザイマシタナラバ、縣
ニ對シテ強力ニ御指導ヲ願ヒタイト思
フノデアリマス、サウシタ既存ノ業者
ガ新タニ企業權ヲ獲得致シマシテ、林
産組合ニ加入ヲ求メタ場合ニ於テ、ヤ
ハリ林業組合ノ如クニ之ヲ拒否スルト
云フコトハ、林産組合トシテ出來ナイ
譯ダト思フノデアリマスガ、其ノ點如
何デアリマスカ

○平川政府委員 御話ノ通りデアリマ
ス

○團司委員 最後ニ御伺ヒ致シテ置キ
タイノデアリマス、地方ニ居リマス
營林署ノヤリ方ト縣廳ノ林務課ノヤリ
方トノ間ニハ、色々ト指導ノ面、監督ノ
面ニ於キマシテ、差異ガ認メラレル場
合モアリマス、サウシタコトニ依ツテ
森林ノ所有者、或ハ木工業者ト云フヤ
ウナモノガ、非常ニ迷惑ヲ蒙ツテ居

ル、極端ニ言ヘバ營林署ト縣廳ノ林務
課トノ方針ト云フモノガ食違ツテ居ッ
テ、ソレニ對シテ色々ナ非難ガ攻撃ヲ加
ヘテ居ル者ガアルト云フヤウナ實情ニ
アルノデアリマスガ、當局ト致シマシ
テハ將來森林行政ト云フモノヲ、一元
化スル意味ニ於カレマシテ、營林署ト
縣廳ト云フモノヲ御統合ニナル御意思
ハゴザイマセヌカ

○平川政府委員 昨日モ御答ヘラシタ
ノデアリマスケレドモ、此ノ兩者ノ施
策ヲ二分セシメナイヤウニ連絡協調ヲ
十分ニ圖ルト云フコトニ付テハ、從來
カラ色々努力ヲ致シテ居リマスケレド
モ、之ヲ機構的ニ一本ニスルト云フコ
トニ付キマシテハ、尙ホ地方行政トノ
關係モアリマスノデ、今直チニサウハ
申上ゲ難キマセヌ、併シ何等カノ形デ兩
者ノ連絡ヲ圖リ得ルヤウナ方向ニ向ッ
テ、更ニ努力ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘ
テ居リマス

○團司委員 最後ニ、東北地方ノ森林
所有者ヲ保護スル意味ニ於カレマシ
テ、政府ニ於テ特ニ今後新タニ公定價
格ヲ設定セラレルヤウナ場合、或ハ又
政府カラ補助金トカ、助成金トカ云フ
モノヲ御出シニナルヤウナ場合、或ハ
先程申上ゲマシタ公租公課ノ問題、サ
ウシタコトニ對シテ、實情ニ即シタ施
策ヲ講ゼラレンコトヲ特ニ要望致シマ
シテ、私ノ質問ヲ終リマス

○森委員長 本日ハ此ノ程度ニ致シマ
シテ、次回ハ九月三日火曜日午前十時
ヨリ開會致シタイト存ジマス、ソレデ
ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時五十四分散會

第六類第十八號 林業會法委員會會議錄 第十四 昭和二十一年八月三十一日

昭和二十一年十一月十六日印刷

昭和二十一年十一月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局